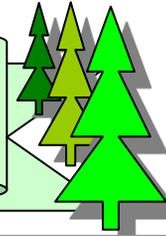




街路樹



「教師力upの素（英語）」

★英語科の授業で心がけたい大切な点



「同席して」教育相談部

調査研究委員会では、今年度からの2年間にわたり「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の質の改善の方向性を調査研究しています。

英語科の授業で心がけたい大切な点は、次のような点になります。（未来をつくるいわきの学校教育ABCプラン参照）

- ・生徒が「実際の使用場面」を意識し学ぶことの必要性を感じる指導
- ・言語材料の定着を図る活動とコミュニケーションを図る活動のバランス

英語科の「教師力upの素」では、中学3年の内容で「道案内」の単元を取り上げ「電車などの乗り物での行き方を尋ねたり教えたりすることができる」を本時のねらいとして指導しています。その中で実際に路線図を掲示して、視覚的に乗り換える駅や停車駅数を把握できるようにし、出発点や目的地を変えて対話練習することで、暗記ではなく実際の場面で使える表現を身に付けられるようにしています。2020年度から実施される小学校の外国語活動の教科化に向けて、小学校の外国語活動の授業についても「教師力upの素」が後日、総合教育センターのネットワークドライブにアップされます。ぜひご覧いただき、校内の研修でも活用していただければと思います。



「子ども健康教育相談」では、子どもたちの特性を知るために、必要に応じて、専門家による発達心理検査を行っています。そして、その検査結果をお知らせする際に、保護者だけでなく、担任の先生の同席をお勧めしています。

当初、忙しい担任の先生が保護者の都合のよい時間に来所できるか心配でした。そこで、私たち相談員は、電話で担任の先生の同席を依頼するとき、「担任の先生が来られない場合は、教頭先生や学年主任の先生の同席を・・・」のフレーズを用意しました。でも、嬉しいことにほとんどの担任の先生が同席してくださっています。

今、目の前の配慮を要する子どもたちのために、保護者と担任の先生はどれだけの話合いの機会や時間を設けているでしょうか。多忙な学校現場では、短時間の個別面談以外には、保護者と担任の先生の話合いの機会や時間がなかなか取れないのが現状ではないでしょうか。このことから、臨床心理士からの検査結果の説明をもとに、1時間程度、子どもへの関わり方について一緒に考えることの必要性と有用性を感じています。

困り感を抱く保護者と、時間を割いて同席してくださる先生との話合いは、これからの子どもへの指導にきっと生きていくと考えています。



デジタル教科書「MY教科書エディタ」の活用について

今年度の2学期から新たに導入されたデジタル教科書には、小学校算数、中学校理科、中学校英語の3教科があり、先生方も普段の授業で活用されていることと思います。デジタル教科書は以前からありましたが、その使いやすさや機能は日々進歩しており、今回導入されたデジタル教科書は毎日の授業で使うのにとっても便利な機能がたくさんあります。今回はその中でも「MY教科書エディタ」という機能について紹介します。

「MY教科書エディタ」は、教科書の中の文字や図形、写真や挿絵などを自由に取り出してレイアウトできる機能です。この機能を使うと、毎日の授業で使用する学習プリントや提示資料を簡単に自作することができます。以下に「MY教科書エディタ」の使用例を挙げてみました。

- ① その時間に学習する部分の文章や図を取り出し、児童・生徒が書き込むスペースと組み合わせて学習プリントを作る。（氏名欄等も簡単に付けることができる）
- ② 練習問題をレイアウトして習熟度別プリントを作る。
- ③ 大事な所をめぐり紙で隠して児童生徒に提示する。

他にもアイデア次第でいろいろな活用法が期待できます。

なお「MY教科書エディタ」で作成したプリントは保存して再利用、及び印刷して配付することも可能ですので、ぜひ毎日の授業で活用してみてください。

デジタル教科書



必要な素材を選んで貼り付ければ・・・

